

事業者における放課後デイサービス 自己評価表

事業所名 スマイルメイトクラ

		チェック項目	はい	どちらとも 言えない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 工夫している点
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	1	・狭いと感じる時あり。 ・適切だとは思えないし、そもそも今の状態が届け出されているのと同じなのか疑問
	2	職員の配置数は適切である	3	1	2	・配置数だけは十分足りている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている			5	・年齢や背に合わせて物置きをしている。 ・現在必要のない利用者ばかりで問題ない。 ・バリアフリーどころか、一部の床が沈んでいる場所があるので安全性に欠けていると思う。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設と振り返り）に、広く職員が参画している	2	1	2	・目標の設定がなく、割り振りも三日坊主で終わっていて、割り振りをしたとしても、改善されていない。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	2		・会社が変わったばかりで、まだ見えてないのでわかりません。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	3		・会社が変わったばかりで、まだ見えてないのでわかりません。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2		・会社が変わったばかりで、まだ見えてないのでわかりません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			・研修が多いが、資質向上はされていないと思う。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	1	1	・細かな分析をし作成されていると思わない。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1	2	・その都度、利用者への共有がされないのわからない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	1	・各々の生活について話し合うことがない。 ・表面上だけに思える。
	12	活動プログラムが固定化されないように工夫している	5		1	・様々な体験ができるようになるべく偏らないものを考えている。 ・肝心な所が全くされていない。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	1	2	・話し合う時間がなかった。全員で課題をそろえていた方がよいと思った。 ・行き当たりばったりなので、出来ていない。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	1	1	・集団ばかりで個別が出来ていない。
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援内容や役割分担について確認している	3	2	1	・担当者から個別に話を聞くことはあるが、まとまった打ち合わせを行っていない、時間を作っていたらと良い。 ・されていない。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	3	1	・会話の中で話す事はあるが、しっかりと話し合って記録を取るなどはしていない。 ・されていない。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1	1	・記録はしているが、内容の共有がないので検証・改善にはつながらない。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	1	1	・当たり前の事はしているが、内容の共有がないので見直し判断しているのが不明。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3	2	1	・複数組み合わせでの支援とは思えない。	
関係 機関	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	4	2		・担会后に情報共有がないので、最もふさわしいものかわからない。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	4	2		・されていると思うが、疑問に思う部分がある。
	22	医療的ケアを必要とする子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		5	1	・現状実際に居ないのでわからない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	2	3	・情報共有が下りて来ないのでわからない。

関 や 保 護 者 と の 連 携	24	学校を卒業し、放課後デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	4		・情報共有が下りて来ないのでわからない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2	2	・情報共有が下りて来ないのでわからない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	2	2	・ない訳ではないが、あると言い切れるとは思えない。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している		5	1	・情報共有が下りて来ないのでわからない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	1	2	・送迎時に話すことのできる時間があるとさらに理解できると思った。 ・情報共有が下りて来ないのでわからない。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	3	2	・行っているように見えない。
保 護 者 へ の 説 明 責 任	30	運営規程、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	2	3	1	・してると思うが、実際を見ていないのでわからない。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	2	1	・情報共有が下りて来ないのでわからない。
	32	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		1	5	・してると思えない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	2		・情報共有が下りて来ないのでわからない。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	2	1	・インスタなどで情報をあげたり、活動の様子を載せたりはしている。 ・最近になってしている。
	35	個人情報に十分注意している	5	1		・外部漏れ等はないが個人配布書類、写真添付ではミスが発生している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	3		・情報共有が下りて来ないのでわからない。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1		5	・してると思えない。
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	2	2	・保護者には行っていない。 ・職員周知はしてるが、保護者周知をしているようにはみえない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		2	・指定された回数はしていても、中途半端な訓練になっている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1	1	・研修は頻繁にあるが、内容把握が出来ていない職員があるので適切な対応とは思えない。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後デイサービス計画に記載している	5	1		・情報共有が下りて来ないのでわからない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	4		・個々のアンケートをしてないようだし、情報共有がないのでわからない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	1	3	・作成がされていないため、作っていくと良い。 ・事例集があるのかわからない。